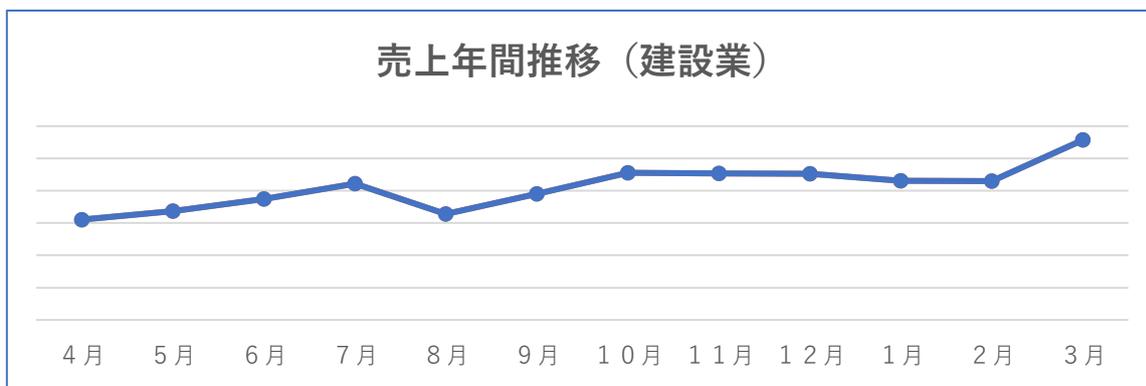


令和4年度 商工会管轄内の企業における景気動向分析（経営経営発達支援計画）

本調査は、経営発達支援計画の一環で地域の景気動向を調査するものです。サンプル企業として建設業、製造業、小売業、卸売業、飲食業、サービス業から合計23社を抽出し、売上や景況感等についてアンケートし、調査結果を以下のとおり簡単にまとめましたので、必要に応じ御社の経営のご参考として確認いただけましたら幸いです。

1. 業種別売上推移

①建設業（7社）



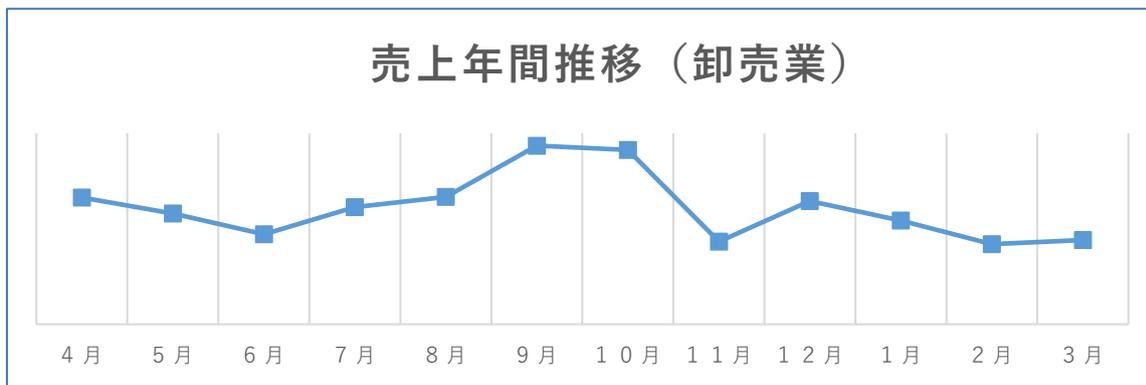
②製造業（3社）



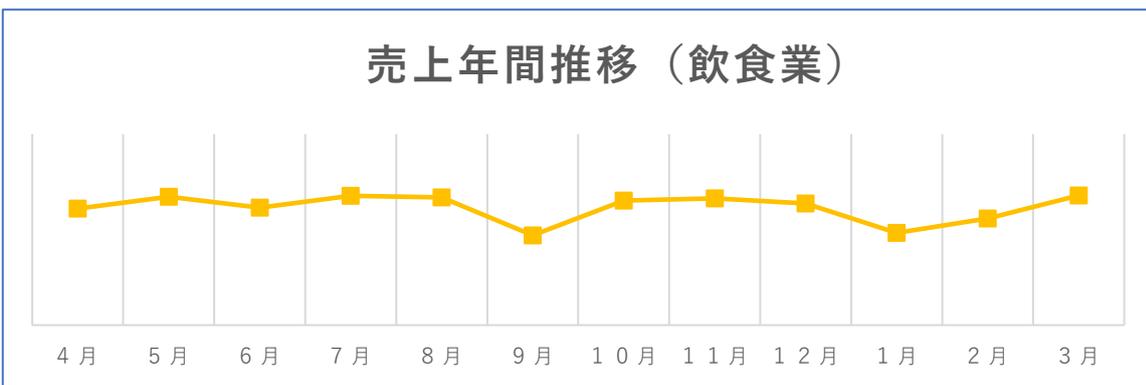
③小売業（4社）



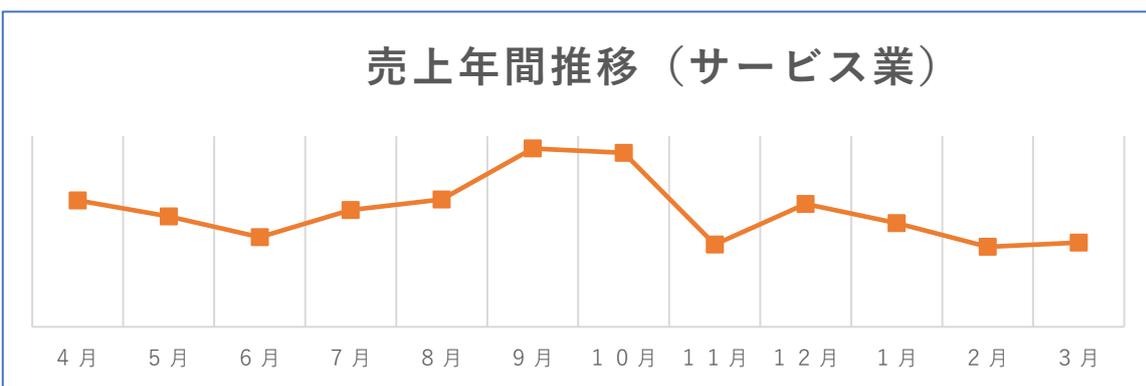
④卸売業（3社）



⑤飲食業（3社）



⑥サービス業（3社）



1. 業種別売上（前年同期比較）

	第1四半期(R04.4月～6月)	第2四半期(R04.7月～9月)	第3四半期(R04.10月～12月)	第4四半期(R05.1月～3月)
建設業	↗	⇒	⇒	⇒
製造業	↗	↗	↗	⇒
小売業	↘	↘	↘	↘
卸売業	↗	↗	↗	⇒
飲食業	↗	↘	↘	⇒
サービス業	⇒	↗	↗	↗

※ ↗（増加） ⇒（不変） ↘（減少）を表します。

2. 業種別資金繰り（前年同期比較）

	第1四半期(R04.4月～6月)	第2四半期(R04.7月～9月)	第3四半期(R04.10月～12月)	第4四半期(R05.1月～3月)
建設業	⇒	⇒	⇒	⇒
製造業	⇒	↘	↘	↗
小売業	↘	↘	↘	↘
卸売業	↗	↗	↗	↘
飲食業	↗	↘	↘	↘
サービス業	↘	↗	⇒	↗

※ ↗（好転） ⇒（不変） ↘（悪化）を表します。

3. 業種別材料等仕入単価（直前期3ヶ月比較）

	第1四半期(R04.4月～6月)	第2四半期(R04.7月～9月)	第3四半期(R04.10月～12月)	第4四半期(R05.1月～3月)
建設業	↗	↗	↗	↗
製造業	↗	↗	↗	↗
小売業	↗	↗	↗	↗
卸売業	↗	↗	↗	↗
飲食業	↗	↗	↗	↗
サービス業	⇒	↗	↗	↗

※ ↗（上昇） ⇒（不変） ↘（低下）を表します。

4. 最近の業況（景気感）

	第1四半期(R04.4月～6月)	第2四半期(R04.7月～9月)	第3四半期(R04.10月～12月)	第4四半期(R05.1月～3月)
建設業	⇒	⇒	⇒	⇒
製造業	⇒	⇒	⇒	↘
小売業	↘	↘	↘	↘
卸売業	↗	⇒	↗	↗
飲食業	⇒	↘	↘	↘
サービス業	↘	↗	↗	⇒

※ ↗（良い） ⇒（ふつう） ↘（悪い）を表します。

5. 最近の採算（利益）

	第1四半期(R04.4月～6月)	第2四半期(R04.7月～9月)	第3四半期(R04.10月～12月)	第4四半期(R05.1月～3月)
建設業	⇒	⇒	⇒	⇒
製造業	⇒	↗	↘	↘
小売業	↗	↘	⇒	⇒
卸売業	⇒	⇒	⇒	↗
飲食業	⇒	↘	⇒	↘
サービス業	↘	↗	↗	⇒

※ ↗（黒字） ⇒（収支トントン） ↘（赤字）を表します。

6. 現在の従業員数

	第1四半期(R04.4月～6月)	第2四半期(R04.7月～9月)	第3四半期(R04.10月～12月)	第4四半期(R05.1月～3月)
建設業	↘	↘	↘	↘
製造業	↘	⇒	⇒	↘
小売業	↘	↗	⇒	↘
卸売業	⇒	⇒	⇒	⇒
飲食業	↘	↘	⇒	⇒
サービス業	↘	↘	⇒	⇒

※ ↗（過剰） ⇒（適正） ↘（不足）を表します。

7. 対象事業所様からこの1年間にいただいたコメント【AI要約】

①建設業

7、8月は剪定作業が多く作業単価が低いため売上が低下する。
 コロナやロシアの戦争による物価の高騰の影響を受けている。
 従業員確保が厳しく、受注したくてもできない。

②製造業

多様化した製品づくりにより好転していると感じる。
 物価高にて原材料高騰し、製品単価を上げざるを得ない。
 全体的に価格を上げていかないと利益が確保できない。

③小売業

コロナに対して周囲があまり気にしなくなったが雇ってしまうと営業できなくなることが怖い。物価の上昇などが経営を圧迫していると感じる。
 現状から採算を良くする工夫していくことが必要。

④卸売業

消費者ニーズの変化への対応仕入単価の上昇新型コロナによる営業活動への支障はなくなりつつある。製造元より仕入単価上昇の極端な値上げを言われ困っている。
見積りの問い合わせが徐々に増えてきており、来期は前年に比べ受注数が増えるのではと思う。

④飲食業

スティホームが定着したため夜の来客が殆どない。
仕入が上がっているため利益だけが下がっていく。
光熱費の値上げが非常に大きく影響している。

⑤サービス業

顧客へのアフターフォロー等手が回らない顧客からクレームを受ける時がある。
自動車修理工場の認証精度を取得するのに設備投資が必要なため資金確保が難しい。
売上の的には何とか確保しているが材料高騰で利益率の低下となっている。

7. 業種別に見た経営上の課題（上位1位）

①建設業

従業員の確保難

②製造業

製品ニーズの変化への対応

③小売業

仕入単価の上昇

④卸売業

仕入単価の上昇

⑤飲食業

材料等仕入単価の上昇

⑥サービス業

利用者ニーズの変化への対応